

福井県大飯郡高浜町音海方言 の比喩語について

岸江 信介

はじめに

1. 調査対象地：高浜町は、若狭湾の西部に位置し、京都府舞鶴市に隣接、音海集落は、高浜町北部にあって内浦湾に面している。半農半漁の村で、すぐ近くに高浜原発がある。高浜までは車で15分、舞鶴までは国道27号線を走って約30分の所要時間である。調査時現在で、56戸で人口はおよそ200人である。
2. 調査年月日：1992年8月28日午後1時00分～午後2時00分
3. 話者：梅谷キヌエ（大正8年2月9日生）（女性）
4. 調査者・調査場所：岸江信介、海岸近くの祠の階段に腰掛けて行った。
5. 調査方法・調査時の様子：調査票に基づき尋ねた。世間話を聞く調子で、作業途上の手を休めて頂き、ご教示賜った。

I 《 自然現象 》

- 1 日照り雨 「キツネノヨメリ（狐の嫁入り）〈名詞〉
- 2 入道雲 「ニュードーグモ（入道雲）〈名詞〉
- 3 旋風 「ツムジカゼ（旋風）〈名詞〉
- 4 霜柱 コーリノ「ハシラ（氷の柱）〈名詞〉
霜を氷で表現している。
「ビードロ〈名詞〉
ビードロは、ガラスの古称で、透明でしかもその形状が似ていることから霜柱に喩えて造られたもの。
- 5 つらら 「ツララ〈名詞〉
- 6 北斗七星 「ホクトヒチセー〈名詞〉
- 7 昴 N. R.（無回答を示す）
- 8 流れ星 「ハシリボシ〈名詞〉、「ナガレボシ〈名詞〉
瞬時に星が天空を移動する動作を「流れる」と捉えず、「走る」ととらえる。

II 《 動物 》

- 9 かわはぎ 「コグリ〈名詞〉、「クグリ〈名詞〉
コグリ・クグリともに古語「くぐり（＝潜り）」と関連があるろうか。
- 10 ひらめ ヒ「ラメ〈名詞〉
- 11 ひきがえる 「ヒキゲール〈名詞〉、「フクゲール〈名詞〉
- 12 青大将 「ヌシ（主）〈名詞〉

家や蔵には必ず一匹はいるということから、「主」と呼ばれるようになったと思われる。

「主」には、イエノヌシ（家の主）とクラノヌシ（蔵の主）とがある。両表現とも「青大将」のことを指しており、いずれも居場所によって呼び方を異にする。

13 とかげ 「トカヲゲ〈名詞〉

14 かまきり カ「マヲキリ〈名詞〉, 「オヲガメ〈名詞〉

オガメはかまきりが両手で拝むような格好をしていることから、このように呼ばれるようになった。

15 みずすまし N. R.

16 きつつき 「キヲツツキ〈名詞〉

17 せきれい 「セヲキレー〈名詞〉

18 ふくろう 「フヲクロー〈名詞〉, 「フヲクロメ〈名詞〉

「フヲクロメのメは、「こんちくしょうめ」等の軽蔑を表す接辞「め」を思わせるが、当地では、イヌメ（犬）、ネコメ（猫）の他、小動物を中心に付く。当地の接辞「め」は共通語のそれとは違い、卑罵的な意味合いが必ずしも含まれているとは言えない。「フヲクロメガ ネェ「アトル ワ。ア「シタ テヲンキヤドー。（鼻が泣いているわ。明日天気だよ）

III 《 植物 》

19 馬鈴薯 「ニドイモ（二度芋）〈名詞〉

年に二度取れるからニドイモという。

20 とろもろこし 「ナヲンバン（南蛮）〈名詞〉

21 いんげん豆 「ニドヲマメ〈名詞〉

馬鈴薯と同様、年に二度取れることからこのように呼ばれる。

22 そら豆 オ「タヲフク（お多福）〈名詞〉

ふっくらした形状をお多福に喩えたもの。

23 木くらげ 「キクヲラゲ〈名詞〉

24 げんのしょうこ 「イシャナカヲシ（医者泣かせ）〈名詞〉

風邪でも怪我でも何にでも効くということから医者が必要としないという点で、このように呼ばれる。

「イヲシャニ クスヲリ 「トヲリニ イカヲンデモ マー コレ セヲンジテ ノムト カ「ゼニデモ ネヲー 「ケヲガニデモ 「ネヲー ヨヲー キク。（医者に薬を取りに行かなくても、まあ、これを煎じて飲むと、風邪にでもねえ、怪我にでもねえ、よく効く）

- 25 どくだみ 「ドクダメ〈名詞〉
- 26 いたどり 「イタドリ〈名詞〉
- 27 からすうり N. R.
- 28 すみれ 「スミレ〈名詞〉
- * おおぼこ 「スモトリタロー〈相撲取り太郎〉
全国的にスモトリグサ等、「すみれ」の方言として用いられる地域が圧倒的に広いが、この地では「おおぼこ」の方言。
- 29 春蘭 「カンジャババ〈名詞〉
語義不明。
- 30 母子草 「ホーコ〈名詞〉
ホーコは母子が訛ったものか。
- 31 ねむの木 「ネムノキ〈名詞〉
- IV 《 性向 》
- 32 熱しやすく冷めやすい人 「アキショー（飽き性）〈名詞〉
- 33 あわてん坊 「アワテンボロー〈名詞〉
- 34 動作の鈍い人 「ハチモン（八文）〈名詞〉
普通を十として、八の力（能力）しかない人をこのように言う。
「ジュー ナイ ユー コトオ 「ハチモンヤトカ 「ネ。アリャー 「ハチモンヤ サカイ ナンニモ 「ソーダン デケン 「ナロー。（十〔に足り〕ないということをも八文とかね。あれは八文だから何にも相談できないねえ）
- 35 嘘つき カワウ「ソ（獺）〈名詞〉
嘘つきを動物のかわうそ（獺）に喩えて言う。「うそ」の部分の語呂を合わせて言ったものであろう。
- 36 ほらふき 「オーブルシキオ ヒ「ロゲル（大風呂敷をひろげる）
ありもしない大きなことを言うことを、大風呂敷を広げるという比喩で表現する。
- * でたらめを
言う人 「クチハッチョー（口八丁）〈名詞〉
ありもしないでたらめを次から次へと言うこと。
- 37 おしゃべり シ「ンブンキョシャ（新聞記者）〈名詞〉
何でもかんでも話題にして、すぐに公表してしまうという意味で「おしゃべり」をこのように比喩する。
ア「リャ シ「ンブンキョシャヤサケア ア「ンナ モンヤカ「タラレン ナロー。（あれは新聞記者だからあんな者には語られないなあ）
- 38 冗談言い オ「ドケイロー（戯け言い）〈名詞〉

- 比喩語ではないが、当方言では冗談よりもオドケをよく使う。
- 39 口先だけの人 ク「チマㇿカセ(口任せ)〈名詞〉
口に任せて言う、厳密に言えば、言いたい放題の意味。
- 40 とんちんかんなことを言う人 「ジュンセェア(でたらめ)〈名詞〉
でたらめで、とんちんかんなことを言う人をこのように言う。
じゅんさい(蓴菜) 水草の一種で粘り気のある葉の部分を利用
とする(前田勇「近世上方語辞典」参照)
- 41 のらりくらし煮えきらない人 「ニーㇿタタン 「ヒㇿト(煮え切らない人)
煮立たない人という意味。
- 42 怒りっほい人 「カンシャクモㇿチ(癪癪持ち)〈名詞〉
モ「エアガリ(燃え上がり)〈名詞〉
怒りの感情が燃え上がるというところからこのような比喩語が生
まれた。
- 43 気むらな人 N. R.
- 44 泣き虫 ナ「キㇿムシ〈名詞〉
- 45 おてんば娘 「オトコマㇿサリ(男勝り)〈名詞〉〈名詞〉
オ「トコニョㇿーポー(男女房)〈名詞〉
- 46 腕白坊主 「ヤンチャボㇿーズ〈名詞〉, 「ヤンチャ〈名詞〉
- 47 出しゃばり オ「シャㇿマサン〈名詞〉
- 48 どこへでも顔を出す人 「デシャバㇿリ〈名詞〉
- 49 家にこもって外出しない人 ウチ「キㇿナ〈形動〉
共通語の内気と通じるが、家にこもってばかりいるという意味。
「ウチゴㇿモリ(内こもり)〈名詞〉
「ヒーミㇿズ(日見ず)〈名詞〉
家にこもってばかりで太陽をみることもないということから、
オ「ヒㇿーサンオ 「ミズニ オㇿル ヒㇿト。(太陽を見ずに
いる人)
- 50 小心者 「キガ チッサㇿイ 「ナㇿー。(気が小さいなあ)
- 51 内弁慶 「ウチベㇿンケー(内弁慶)〈名詞〉
- 52 人づき合いをしない人, 社交性のない人 「キママボン(気まま坊)〈名詞〉,
「キママボㇿーズ(気まま坊主)〈名詞〉
- 53 妻に対して頭の上がない男 N. R.
- 54 けち ケ「チㇿンボ(けちんぼう)〈名詞〉, ニギリ(握り)〈名詞〉
, テー「ニギㇿリ(手握り)〈名詞〉
ニギリ・テーニギリは、手のひらを開けるのが嫌いという意味。
一度自分の手にしたら、それを握りしめ離さないということから

これらの比喩語が生まれた。

N. R.

55 欲張り

V 《 食生活 》

56 大食漢

「オーグヲイ（大喰い）〈名詞〉，「タイショク（大食）〈名詞〉，「ダオケ〈名詞〉

「アノ ヒトヲワ 「ニンメーヲモ タベトル 「ダオケヤヲワ。（あの人は二人前も食べるだおけだよ）

57 ぼたもち

ボ「タヲモチ（ぼたもち）〈名詞〉，オ「ハヲギ〈名詞〉

58 砂糖味が薄い

サ「トーヤノ カヲド 「ハヲシッテ トヲーッタ。（砂糖屋の角走って通った）

砂糖屋の角を走って通るといのは、甘味が足りない時の比喩表現。このあと、以下のように言うことが多い。

「モヲット ケロケヲロ ミテ トヲーッタラ 「モチヲット
「アヲマイヤロ ニ。（もっときよろきよろ見て通ったらもうちょっと甘いだろうに）

すなわち走らずゆっくりと通れば甘みも増したというのである。

59 塩味が薄い

「ミズクセヲェア（水くさい）〈形容詞〉

60 大酒飲み

オ「ロヲチ（おろち）〈名詞〉

やまたのおろち（大蛇）が酒を好んで飲むことからこのような比喩語がある。

61 酒に酔ってくだをまく グ「デンマヲキ〈名詞〉

酒に酔ってぐでんぐでんになり、くだをまく人をこう言う。

ア「レワ モー ヒ「トニ イヤガラレル ナヲー。アンナ グ
「デンマヲキワ 「アカン ヨー。（あれは、もう人に嫌がられるなあ。あんなくでんまきは駄目だよ）

62 酒に酔って顔が赤くなる，そのさま N. R.

ア「ノ ヒトワ チート 「ノヲンデモ カ「オガ アコナヲッ
テ「ーヲエ 「ヨヲーケ ノヲンダヨーニ ミヲエテ 「エヲー
「ナヲー。（あの人はちよっと飲んだだけでも顔が赤くなって
沢山飲んだように見えていいなあ）

VI 《 動作・様態 》

63 恥ずかしくて顔が赤くなる，そのさま N. R.

64 どしゃ降りの雨 ジャ「ジャブリ〈名詞〉

65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる，そのさま N. R.

66 服装がだらしないさま 「フシヲダラナ〈形動〉

67 髭がのび放題なさま 「ブショーヲヒゲ（不精ひげ）〈名詞〉

68 厚化粧をしている人 「シラカㇿべ（白壁）〈名詞〉

白い壁を厚化粧に喩えたもの。

「アノヒㇿトワ イツモ 「シラカㇿべ ヌㇿッタヨーニ 「シ
トッテㇿヤ 「ナㇿー。（あの人はいつも白壁を塗ったようにし
ておいでだねえ。）

69 背丈の高い人 「ノㇿッポサン（のっぼ）〈名詞〉

「クモノスハㇿライ（蜘蛛の巣払い）〈名詞〉

背が高いので、高いところにある蜘蛛の巣がすぐに絡みついてし
まうことから背が高い人のことをこのように喩える。

70 出びたい ヒョ「ットコ（ひょっとこ）〈名詞〉

ひょっとこの額が出ていることから当地では、出びたいのひとの
ことをこのようにいう。

71 汗がひたいから流れ落ちる 「アㇿセガ タ「キノヨㇿーニ ナㇿッテ デㇿル
「ナㇿー。

語レベルでの比喩語は見られないが、上記のように表現すること
が多い。

72 目を丸くする N. R.

73 口をとがらす N. R.

74 焦げ臭いにおい コ「ゲクサㇿイ〈形容詞〉

75 遠回り（を）する N. R.

76 末っ子 オ「トゴ〈名詞〉

77 一生懸命頑張る N. R.

【総括（まとめ）の叙述方法】

調査項目のうち、共通語と同形の回答があったものについては、その語形のみをアクセ
ントをつけて掲げることとし、解説を省略した。また、項目中、比喩語とは認められない
ものについても、方言形を掲載することにした。比喩語の造りの上では、名詞に、動詞連
用形の名詞化したもの（例、イシャナカシ、オドケイー、オトコマサリ、デシャバリ、テ
ーニギリ等）が添えられた語形が多い。また、造語発想上、形態、形状等が類似するとい
う点で、他の語に比喩的に置き換えられたもの（ヌシ、カワウソ、オタフク、ハチモン、
オロチ、ヒョットコ、オトコニョーポー等）が多い。方言の中の比喩語の一端に触れたに
過ぎないが、共通語には認められない滑らか且つ大らかな言い回しに富み、是非とも共通
語に加えて頂きたい語が多くある。

（きしえしんすけ 大阪市立中央高校）